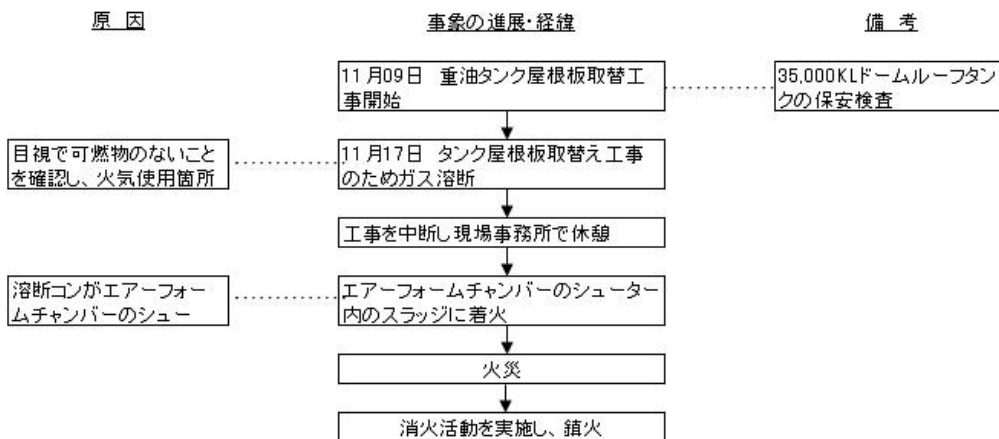




重油タンク屋根板取替え工事中に火災

事象進展図

00097	重油タンク屋根板取替え工事中に火災
発災年月日	1992年11月17日
装置	重油タンク
運転状況	タンク屋根板取替え工事
特徴	屋根板取替え工事で溶断作業したが、湿潤作業が不十分で可燃性スラッジに着火、火災



再発防止策
火気使用工事に際して散水を徹底。 作業終了後(中断を含む)の目視確認と散水の実施。 タンク開放時における清掃方法の見直し。 タンク開放工事中における作業マニュアル、安全対策の見直し。
安全専門家コメント
タンク内の清掃は目的によって、清掃方法・程度、範囲を決める。 溶断や溶接作業の際、シューターのように高所で点検・確認が難しい場所のスラッジの付着状況、および湿潤対策実施状況は足場を設置して確認する。 湿潤方法が記述されていないがシューターのスラッジにホース等で散水しても勾配があり、且つ、スラッジに吸水性がないため十分な湿潤状態を保つのは難しいと思われる。 火気使用場所近辺に可燃物が残っていたことを重視したい。点検ににくいからといって細部まで確認しなかったり、湿潤することによって安全対策を済ますと勘がでる。除去ができなければ残っている可燃物を完全に隔離するのが次善の策である。

引き金事象発生の原因	事故の引き金事象	事故に関係した直接・間接要因
・シューター内のスラッジ除去不足 ・溶断時の湿潤不足	ガス溶断の溶断コンが落下しスラッジに着火	《工事・施工要因》 ・工事検収不足 ・工事方法不適切



重油タンク屋根板取替え工事中に火災

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

- ・全国危険物安全協会、危険物施設の事故事例100～No.2～、P54 - 55、1994年
- ・高圧ガス保安協会、重油タンク「屋根板取替工事中の火災」、石油精製及び石油化学装置事故事例集、P.95-96、1995年
- ・消防庁、開放補修中の屋外タンク内における火災、危険物に係る事故事例 - 平成4年、P.158-159

▶ 添付資料



[図 タンク消火設備機器概要](#) (51 KB)

▶ キーワード(> 同義語)

- 🔑 貯蔵入出荷設備 > オフサイト設備
- 🔑 タンク > 貯槽
- 🔑 貯蔵系
- 🔑 丸屋根タンク > ドームルーフタンク, DRT

▶ 関連情報